

○：「自

国の国民の食料を確保すること
 が、どの時代でも政治の最も大きな役割だ。政府の姿勢が食料自給率向上から遠ざかることは許さ



食料の確保 見詰め直せ

れない」と民主党の石山敬貴氏（衆・宮城）。農業の競争力強化に向けた政府の検討方向について「経済連携の方針を掲げるばかりで、基本計画の位置付けが見えない。食料需給のひっ迫がいつ起きてもおかしくない中で、自給率50%の目標をしっかりと見定めるべきだ」と力説。